

決算説明資料

2025年12月期 第1四半期

ISB CORPORATION

証券コード：9702

株式会社アイ・エス・ビー

連結損益計算書



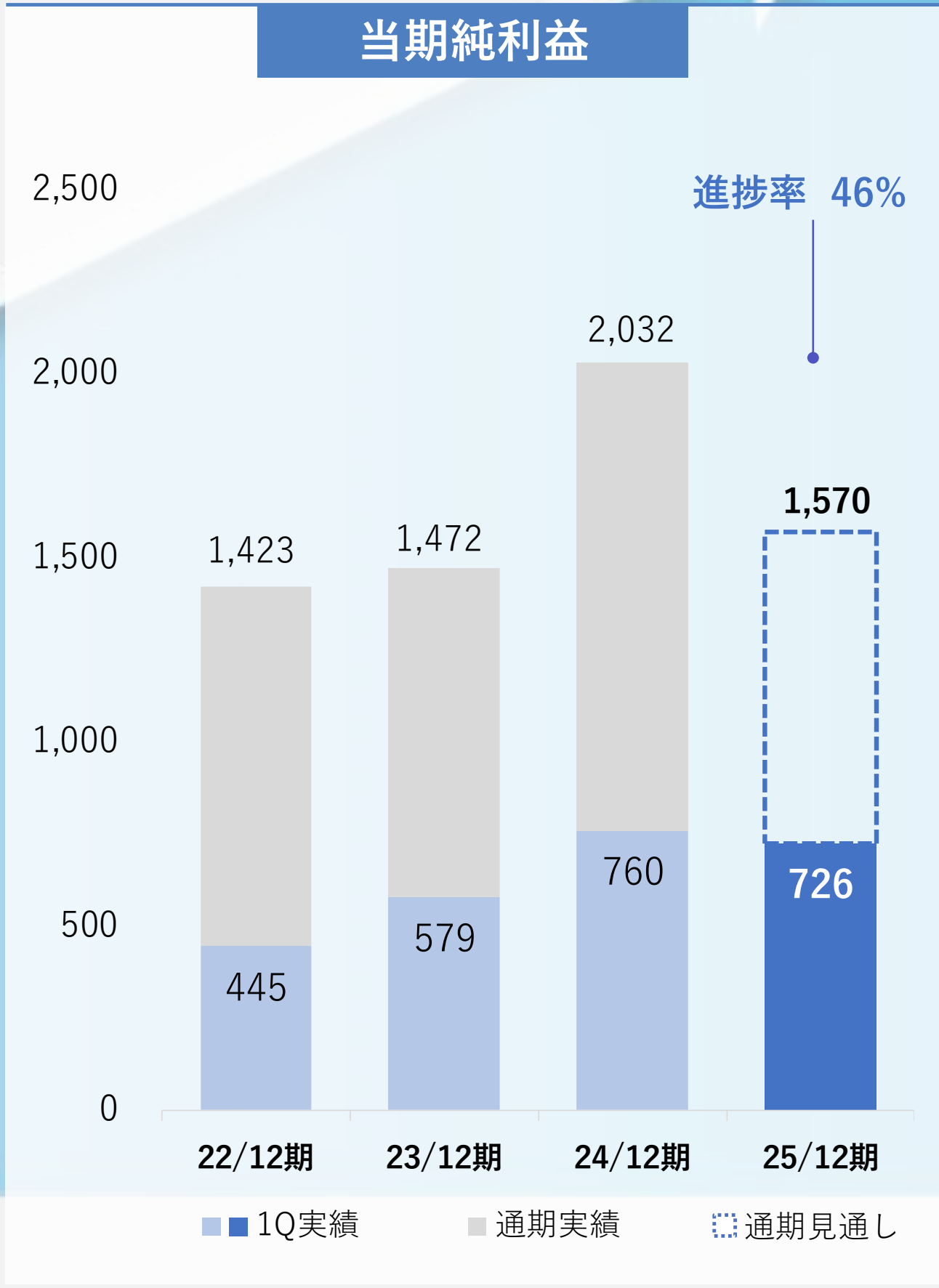
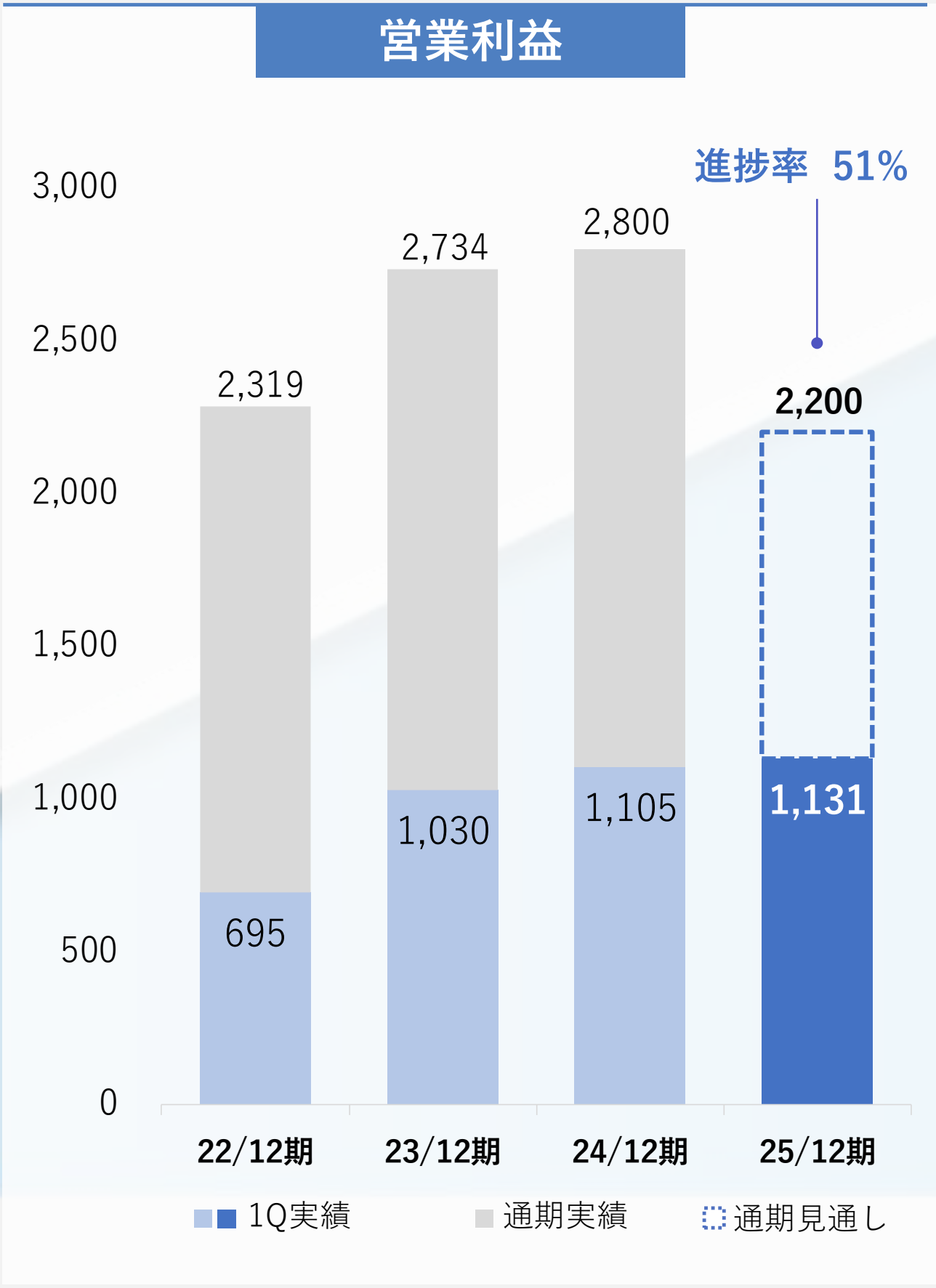
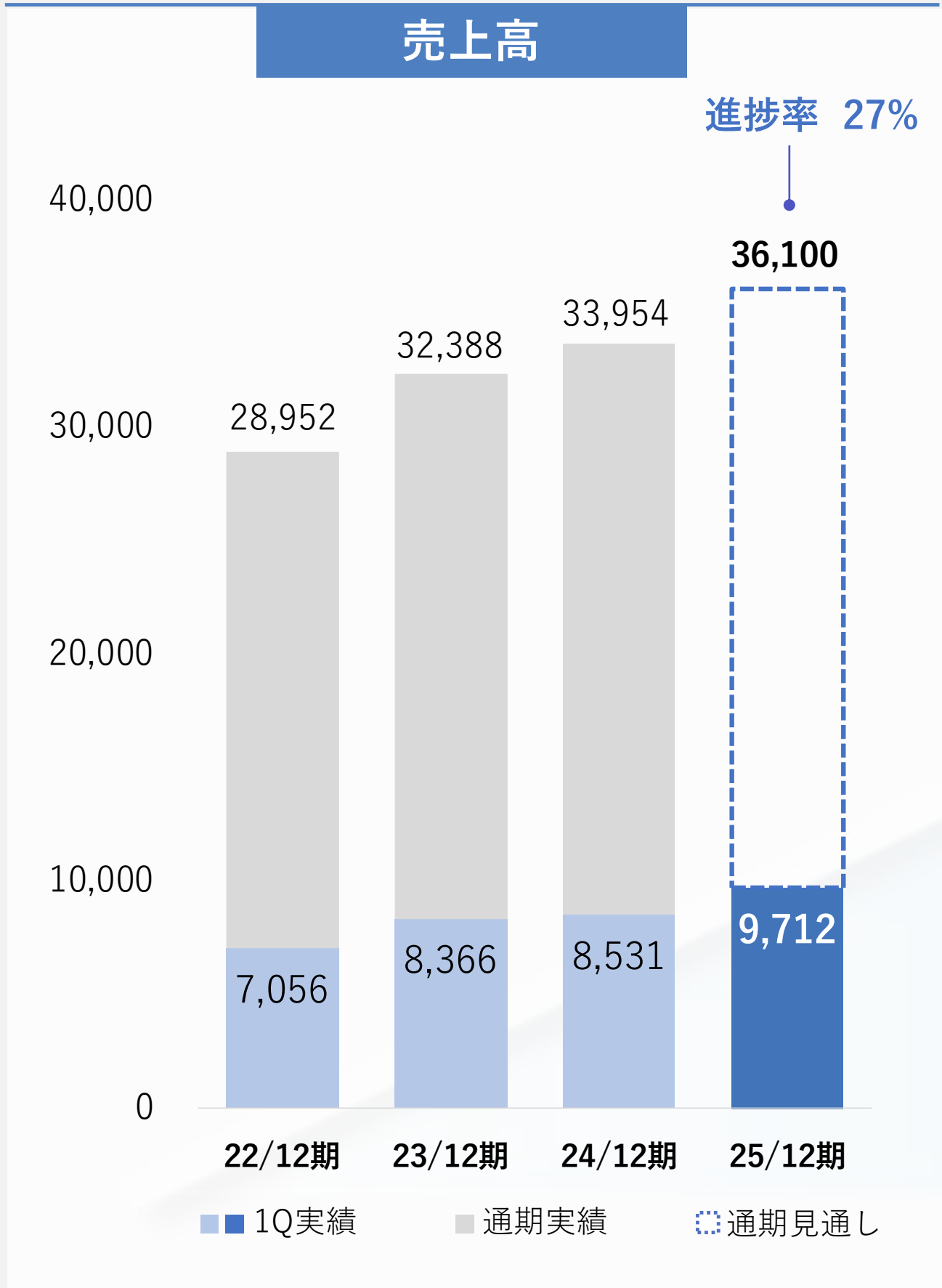
モビリティ、ビジネスインダストリー、エンタープライズ、プロダクトの4領域すべてにおいて受注が堅調に増加し、前年同期比増収。成長投資(約3億円)および調達コストの上昇を、増収の収益面で吸収し、計画を上回り営業利益、経常利益ともに増益。第1四半期累計の売上高・営業利益は過去最高を更新。

(単位：百万円)

	2024年1Q	2025年1Q	増減	前年同期比	通期予想
売上高	8,531	9,712	1,181	114%	36,100
営業利益	1,105	1,131	26	102%	2,200
営業利益率	13.0%	11.6%	▲ 1.4pt	-	6.1%
経常利益	1,132	1,139	7	101%	2,300
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	760	726	▲ 34	96%	1,570

第1四半期の受注は堅調に推移、計画を超過。売上高・営業利益は過去最高を更新

(単位：百万円)

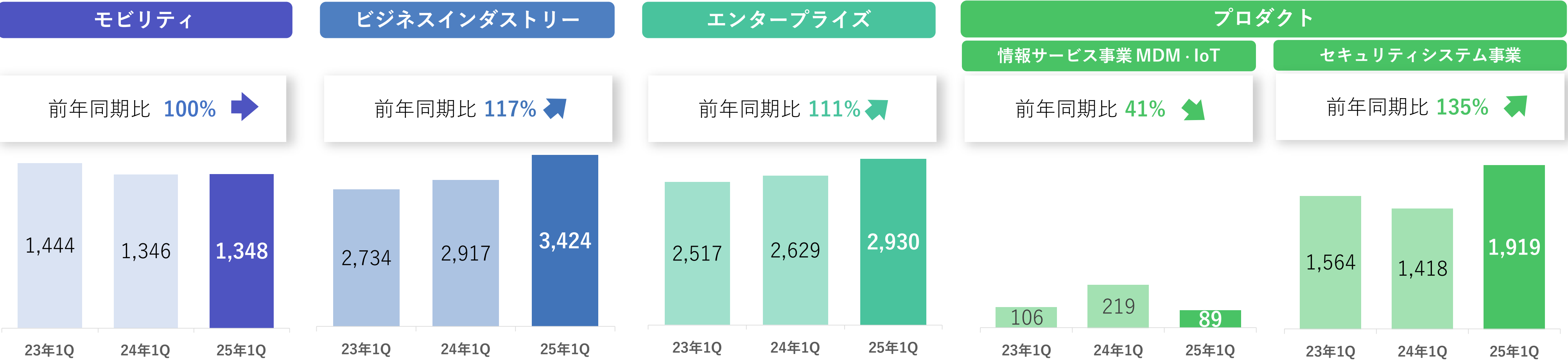


事業領域別売上高



モビリティ	携帯端末・5G関連は縮小継続し、その他組込みへシフト。車載は前期から堅調に推移し漸増。 今後、車載はメーター系のほか、カーエレクトロニクス領域の拡大を狙い、さらなる伸長を目指す。
ビジネス インダストリー	DX関連での業務システムの引き合いは引き続き旺盛。 セキュリティ、医療、教育、IoT系等の案件を受注、組込みも堅調に推移。
エンタープライズ	金融は主要顧客を中心に受注が好調に推移。銀行・保険も引き続き拡大。 自治体案件を推進し伸長。ITインフラも引き合いが堅調で安定的に推移。
プロダクト	【情報サービス事業 MDM・IoT】 前期の機器販売やIoT案件の反動で減収。ソリューション提案とMDMを推進。 【セキュリティシステム事業】 顔認証等デバイスが物件のリニューアル需要を喚起、また2Q予定案件の一部前倒しにより、大幅増収。 加えてリカーリングビジネスも引き続き順調に伸長。

(単位：百万円)





本資料は、2025年12月期第1四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めていただくことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2025年3月末時点の状況において作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。